

地域の歴史で作る「ふるさとキャリア教育」講座

主催 鳥取県教育センター・鳥取県埋蔵文化財センター

「ふるさとキャリア教育」は、当県の教育方針の柱のひとつです。そして、この「ふるさとキャリア教育」を実践するにあたり地域の歴史は欠かすことのできない教材です。

しかし、地域の歴史素材は意外と知られていません。この地域の歴史素材を掘り起こし、「ふるさとキャリア教育」での活用方法を紹介する講座です。

第1回 5月29日(土) 中止 全国も注目！鳥取の縄文・弥生遺跡

鳥取県の遺跡という国史跡青谷上寺地遺跡、国史跡妻木晩田遺跡の弥生遺跡をすぐ思い浮かべるかもしれませんが、実は県内には約100の縄文遺跡、約200の弥生遺跡があります。史跡になっている遺跡を含め、地域にある縄文・弥生遺跡を教材にした授業づくりをします。

※第1回の講座内容は後日、教育センター学校教育支援サイト等に掲載予定です。掲載については、当埋蔵文化財センターホームページにてお知らせします。



弥生時代の大量集落 妻木晩田遺跡
復元建物群



山陰最古級の前方後円墳
本高14号墳

第2回 6月5日(土) オンライン開催 前方後円墳から分かる地域の歴史

終了

教科書には前方後円墳が古墳の代表かのように紹介されています。しかし、古墳は前方後円墳だけではありません。県内の全古墳数約13,000中、前方後円墳は約250。決して数の多くない前方後円墳が教科書に取り上げられているなどを解きながら、地域にある古墳を教材にした授業づくりをします。

第3回 7月3日(土) 古代山陰道から分かる鳥取の奈良時代

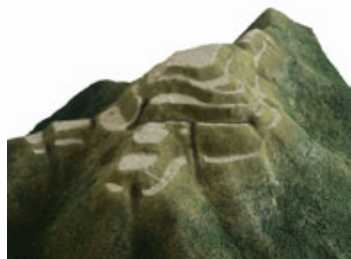
奈良時代、平安時代は貴族中心の律令国家の時代と教科書には書かれています。では律令国家を支えた社会体制の基盤に全国を結ぶ官道(古代の道)が見えてきます。鳥取でも見つけた古代山陰道(官道)から分かる当時の社会について遺跡や出土品を教材にした授業づくりをします。



連続したヘアピンカーブを確認
全国初のつづら折りの古代山陰道
(復元イラスト)

第4回 8月1日(日) 地域の中世のお城と鳥取の戦国時代

教科書の「3人の武将と天下統一」は、織田軍(羽柴秀吉)の因幡攻めを受けた当県には大きく関わりのある単元です。県内には504城もの中近世のお城があり、その中には織田軍との戦いに関係した山城も多くあり、その山城は以外に身近にあります。教科書の単元にも結びつく地元のお城を教材とした授業づくりをします。



織田VS毛利の戦いに関連する
中世の山城 狗戸那城(鳥取市)
県内有数の大規模で複雑な構造

全4回開催

会場：第1回 動画配信
第2回 オンライン
第3・4回 鳥取県埋蔵文化財センター

時間：13:30~15:30

定員：10名

※事前申込みが必要です。

申込み先

鳥取県埋蔵文化財センター

鳥取市国府町宮下1260

TEL 0857-27-6711

FAX 0857-27-6712

メール maibuncenter@pref.tottori.lg.jp

https://www.pref.tottori.lg.jp/maibun/